

選奨生奨学資金貸付申請書（一時金）							
ふりがな	ぐ じょう た ろう			●年 ●月 ●日生 (満●●歳)	奨学金の貸付希望期間		
氏 名	郡 上 太 郎				●年 ●月から ●年 ●月まで ●年 月間		
入学予定学校	※国立	高等学校	科	学年	※ 全日制 定時制		
	公立 私立	中等教育学校 高等専門学校 ●●大学	科 科	学年 学年 1学年 (●●年 3月卒業見込)			
	所在地	●●県 ●●市 ●●区 ●●町 ●●●●番地●					
本人	本 籍	岐阜県 郡上市 ●●町 ●●●●番地●					
	現住所	※自宅 寮 下宿 間借 その他() 電話番号●●●(●●) ●●●● 〒●●●-●●●● 岐阜県 郡上市 ●●町 ●●●●番地●					
家族	現住所	※持家 借家 間借 社宅 その他() 電話番号●●●(●●) ●●●● 〒●●●-●●●● 岐阜県 郡上市 ●●町 ●●●●番地●					
家族の状況 (家計支持者に○印)	就学者を除く 家族	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	年間所得
		父	● ● ● ●	歳 ●●	会社員	(株)●●	円 2,600,000
		母	● ● ● ●	●●	パート	●●(株)	300,000
		祖父	● ● ● ●	●●	農業	自作農	200,000
	祖母	● ● ● ●	●●	無職		0	
	就学者 (別居者に×印)	続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別 (小・中学生を除く。)
		本人	郡 上 太 郎	歳 ●●	●●高校	年 3	※自宅・自宅外
		妹	● ● ● ●	●●	●●中学校	●	※自宅・自宅外
							※自宅・自宅外
							※自宅・自宅外
↑ 世帯の所得 記入不要 ↓	給与所得	※商業・工業・林業所得		農業所得		その他()の所得	
	年間所得 円 (賞与諸手当を含む。)	年売上高 円 営業支出 円 営業利益(税込)	円	年間所得 円 (自家消費分も含む。)	円	年間所得 円 ※ 各種報酬、各種年金、扶助料、 利子、配当、地代、家賃、 その他()	
		円	耕作 面積	田 畑	a a		
資 産	預・貯金 有価証券	千円、宅地 千円、山林	m ² 、農地 a、家屋	戸	a m ²		

・この欄は記載しないこと。

貸付期間	借用証書提出年月	×	×決定番号
月 日から 月 日まで	年 月		郡奨第 号

奨学資金を希望する理由	※一時金を申請する理由（経済的理由の詳細内容）と何に使うのか（入学金等）を具体的に明記し、貸し付け希望する金額（50万円以内）を必ず書いて下さい。	
本人の履歴	●●年 3月 ●●中学校卒	年 月
	●●年 3月 ●●高等学校卒	年 月
	年 月	年 月
<p>上記のとおり、郡上市選奨生として奨学資金の貸付けを受けたく申請します。</p> <p>なお、市がこの申請内容を審査するに当たり、同一生計の家族の住民基本台帳、所得・課税状況、市税の納付状況を調査することに同意します。</p> <p>年 月 日</p> <p>郡上市長 様 (以下本人、連帯保証人2名が、記載押印)</p> <p style="text-align: right;">ふりがな</p> <p style="text-align: right;">本人氏名 印</p> <p style="text-align: right;">ふりがな</p> <p style="text-align: right;">連帯保証人氏名 印</p> <p style="text-align: right;">本籍</p> <p style="text-align: right;">現住所</p> <p style="text-align: right;">続柄本人の() 年 月 日生</p> <p style="text-align: right;">ふりがな</p> <p style="text-align: right;">連帯保証人氏名 印</p> <p style="text-align: right;">本籍</p> <p style="text-align: right;">現住所</p> <p style="text-align: right;">続柄本人の() 年 月 日生</p>		
<p>備考 1 ※印のところは該当のものを○で囲み、×印のところは記入しないこと。</p> <p>2 就学者とは、学校教育法第1条に規定する学校（幼稚園を除く。）に就学するものをいう。</p> <p>3 家計内容は、家族全員の収入を詳細に記入し、源泉徴収票又は確定申告書の写し等の所得が分かる書類を併せて添付すること。</p> <p>4 奨学金を希望する理由は、家族の状況等を具体的かつ詳細に記入すること。</p> <p>5 <u>連帯保証人は、独立の生計を営む成年者であること。(1名は別生計)</u></p> <p>6 <u>申請者が未成年者であるときは、連帯保証人のうち1人は親権者又は後見人とすること。</u></p>		